

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	鋼構造耐火設計小委員会	主 査 名：鈴木淳一 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：五十田博 主 査 名：五十嵐規矩夫
設 置 期 間	2023 年 4 月 ～ 2027 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	鋼構造耐火設計指針(第 3 版, 2017 年刊行)で残された諸課題を解決するため、最新の研究成果を組み込むことで各種評価法の見直しと改善を図るとともに、指針を改定する。 初年度：2 章(高温時特性)、3・4 章(火災外力)、5 章(鋼材温度)の改定部分の検討 2 年度：6～9 章(架構の崩壊温度)、10 章(耐火設計例)の改定部分の検討 3 年度：指針の改定・執筆作業、シンポジウム・PD 等の開催 4 年度：査読等、出版準備作業	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：鈴木淳一(建築研究所) 幹事：尾崎文宣(名古屋大学)、新谷祐介(竹中工務店) 委員：井戸和彦(清水建設)、岡崎智仁(竹中工務店)、木村 慧(日本製鉄)、 焦 瑜(東京都市大学)、高木次郎(首都大学東京)、西野智研(京都大学)、 馬場重彰(大成建設)、原田和典(京都大学)、平島岳夫(千葉大学)、 村上行夫(JFE スチール)、四元順也(日本建築総合試験所)、 若松高志(日本防災研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	火災性状・温度解析WG：指針 3 章～5 章(火災荷重, 火災性状, 火災時における鋼材温度)に関する部分の検討・執筆作業を行う。 鋼材強度・崩壊温度WG：指針 2 章、6～9 章(鋼材、各種架構の崩壊温度)に関する部分の検討・執筆作業を行う。	
2023 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	・指針の改定内容について検討した。本年度は、指針改定のためのケーススタディを実施するため、耐火設計例検討 WG の組織を検討した。当初の目的は到達した。
委員会活動の問題点・課題	なし